

保団連第 49 回定期大会 発言通告用紙

協会・医会名 千葉県保険医協会	氏 名 野崎 泰夫
文書発言	
発言テーマ	全国で歯科技工士を守る取り組みを旺盛に
<p> 発言内容 協会は 2019 年 11 月 7 日、協会会議室において千葉県歯科技工士会との懇談を行った。今回の懇談は協会からの要請に応えた会で 10 年ぶりの開催となった。 </p> <p> 懇談では、協会からは 1) 歯科技工所アンケート結果から見える課題、2) 歯科技工問題に対する協会・保団連要求、3) 第 7 回歯科技工の養成・確保に関する検討会概要、4) 歯科技工士の実態改善のための要望、の 4 点について報告。懇談では歯科医療機関と歯科技工所の経営がともに成り立つためには、窓口負担の軽減と歯科技工物の保険点数決定プロセスの改善、適正な委託技工取引を実現させるために、実効的な制度の確立が重要であることなど意見交換を行った。特に、2016 年に協会で行った歯科技工所アンケートでは県内の歯科技工所の 9 割に後継者がなく、経営を継承することができないことや長時間労働を強いられており、可処分所得は平均 300 万円で看過できない。ともに歯科医療を守る取り組みをする必要があることを報告した。 </p> <p> また、歯科技工士会から 1) 近年導入された CAD/CAM 作製のオペレーターの専門外の従事状況の問題や 2018 年歯科技工士実態調査の結果等、歯科技工士をとりまく最近の情勢などの報告があった。中でも歯科技工士学校卒業後、歯科技工士として勤務する方は 2 割をきっており、離職や転職など、歯科技工士の労働環境の改善は過酷な状況であることを改めて再認識する機会となり、歯科技工士を養成するための助成金創設等の課題が明らかとなった。今後もこうした懇談を定期的に行い、情報交換を行っていくことを確認し閉会した。 </p> <p> 歯科医療をよりよくしていく上で、歯科医療総枠拡大は急務であり、全国で歯科技工士を守る活動を旺盛に進めていく必要がある。 </p>	